

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

いわみざわしちゆうしんしがいち い わ み ざ わ し ち ゆ う し ん し が い ち みりよく じゅうかんきょう そうしゅつ
岩見沢市中心市街地における魅力ある住環境の創出

ほっかいどういわみざわし
北海道岩見沢市

平成25年3月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

※地域における多様な需要に応じた公的賃貸住宅等の整備等に関する特別措置法（平成17年法律第79号）第6条第1項に基づく「地域住宅計画」を含む場合は別様式○を参考とすること

計画の名称	1 岩見沢市中心市街地における魅力ある住環境の創出		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	北海道、岩見沢市
計画の目標	魅力あるまちなか居住環境の創出 中心市街地の人口増加		

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地における居住者人口増加率 文化・教育・交流施設利用者増加率 		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)	
住民基本台帳における中心市街地の居住者人口 平成21年12月を100%とした場合の増加率 (岩見沢市中心市街地活性化基本計画に掲げられた目標5,000人のうち、基幹事業及び効果促進事業による人口増加分)	100%		104%	※中間目標は任意
旧3館（空知婦人会館、岩見沢市勤労青少年ホーム、岩見沢働く婦人の家）のH21年度利用者数を100%とした場合の増加率	100%		127%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,590百万円	A	2,353百万円	B	0百万円	C	237百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.2%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	--------	---------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	住宅	一般	岩見沢市	間接	民間企業	3・5地区優良建築物等整備事業	賃貸住宅の整備 14戸						54	
1-A1-2	住宅	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市	生涯学習センター地区暮らし・にぎわい再生事業	生涯学習センター 延床面積 7,859.18㎡						2,106	
1-A1-3	住宅	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市	ポルタ地区暮らし・にぎわい再生事業	空きビル再生 延床面積						193	
合計												2,353		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

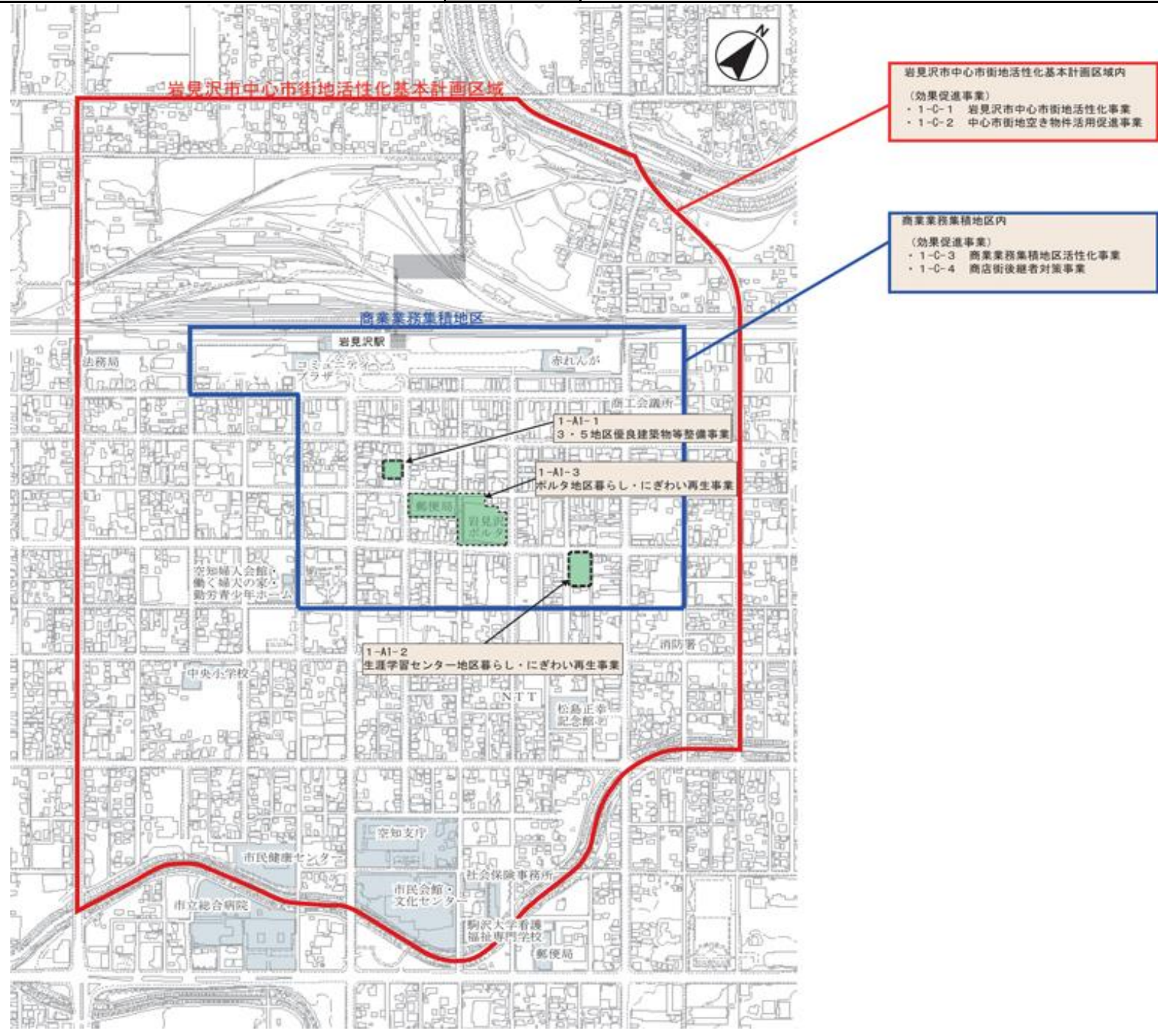
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	活動支援	一般	岩見沢市	間接	民間企業	—	岩見沢市中心市街地活性化事業	賃貸住宅の建設補助、イベントなどのソフト事業に対する補助など民間の事業に対して補助金を支出し、民間活力を活用して、中心市街地の活性化を図る。	岩見沢市						125	
1-C-2	活動支援	一般	岩見沢市	直接	岩見沢市		中心市街地空き物件活用促進事業	中心市街地内の空き物件の利活用に関する窓口を設け、ありとあらゆる相談に応じ空き物件の解消を図る。	岩見沢市						36	
1-C-3	活動支援	一般	岩見沢市	間接	民間企業		商業業務集積地区活性化事業	エリアマネジメントチームが取り組むビル再生事業等の支援を行うことにより中心市街地の活性化を図る。	岩見沢市						64	
1-C-4	活動支援	一般	岩見沢市	間接	民間企業		商店街後継者対策事業	商売に興味のある若者等を対象に、インターンシップの実施や起業塾を開催して商売のノウハウを修得させ、後継者の育成や中心市街地での起業の促進を図る。	岩見沢市						12	
合計												237				

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
1-C-1	賃貸住宅建設事業、景観整備事業、イベント事業等の様々な民間による事業が実施されることにより、中心市街地の住環境の向上が見込まれるとともに、基幹事業により整備される施設の地理的的魅力も向上し、居住人口の安定化や利用者数の増加が図られる。													
1-C-2	中心市街地の空き物件活用に関する相談、支援を行うことにより、空き店舗、空き家、空き地の解消が図られ、利便性の高い住環境を創出され、居住人口の増加につながる。													
1-C-3	エリアマネジメントチームが空きビル再生に係るソフト事業をはじめ中心市街地全体を見据えた各種事業を展開することにより魅力あるまちなか居住環境の創出が図られる。													
1-C-4	中心市街地の課題である商店街の後継者対策に取り組むことで、商店街の持続性の確保と魅力向上を図り、市民要望の高い“魅力的な店舗や飲食店”のあるまちなか居住の環境を創出し、居住人口の増加につなげていく。													

(参考図面) 地域住宅支援

計画の名称	1 岩見沢市中心市街地における魅力ある住環境の創出	交付対象	北海道、岩見沢市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅支援)

計画の名称: 岩見沢市中心市街地における魅力ある住環境の創出 地方公共団体名: 岩見沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関連する計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
(該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 <input checked="" type="checkbox"/> まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅・建築物の安全・安心確保 <input checked="" type="checkbox"/> 良好な住環境の整備 ケ 地域の特色ある街並みの整備 コ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	○
⑤地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○
④計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	○